

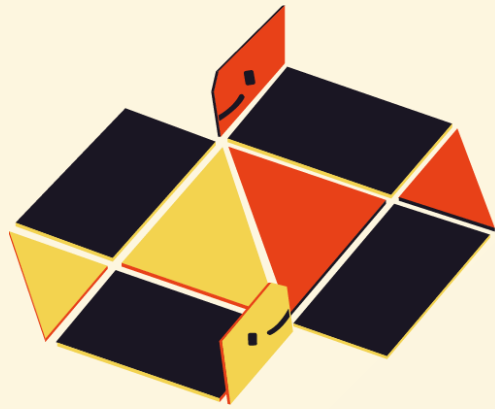
オンラインコミュニケーションの課題と、その乗り越え方

中村 優 / @chanyou0311

中村 優



- ちゃんゆー / @chanyou0311
- 広島出身広島在住のエンジニア、高専出身
- お仕事はデータ分析基盤の構築、運用
- 趣味はクルマと工作



PYCON
JP 2022

PyCon JP 2022 を10月に開催します

PyCon JP 2022

- 日程: 10/14(金) から 10/16(日) まで
- 会場: TOC有明コンベンションホール
- ウェブサイト: <https://2022.pycon.jp>
- connpass よりお申込みください！

オンラインコミュニケーションの課題と、その乗り越え方

今日お話すること

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方

注意

- 学術的な裏付けや根拠はなく、自身の経験と推測に基づいた解釈をお話します。
- 「そういう見方もあるかも」くらいで、さらっと聞いてもらえると嬉しいです。

今日お話ししないこと

- リモートワークのメリット
- リモートワークのコツ

あえて今日は触れません！

オンラインコミュニケーションの課題とは？

あらゆる状況において、情報の偏りを生んでしまう

あらゆる状況において、**情報の偏り**を生んでしまう

- 個人
- チーム
- 組織全体

日々インプットする情報に偏りが出してしまう

- 読んだ書籍、チェックしているニュースサイト等が偏ってしまう
- chanyou は普段 Python を書いているので関心がそちらに寄りがち
 - 一方で Ruby の動向は何もわからない
- 重要な情報を見逃しているかも...

社内メンバーのスキルや人間関係がわからない

- 組織に長くいればいるほど、誰と誰が一緒に仕事していたか把握できる
- 新しくリモートの組織に入ると、今の状況はわかってても過去のことを把握するのは困難
 - 今のプロダクトオーナーが、実は以前テックリードとして働いていてバリバリコード書けたとか
- リモートだとなぜか過去の話題になりにくい

チームの仕事が属人化してしまう

- 「この仕事はあの人が前やったから、今回もお願いしよう」
- ドキュメント化されない秘伝の知見がその人に閉じてしまう
- オフィスだと教えてもらおうきっかけを作りやすいのに...

チームの動きが局所最適化されてしまう

- コミュニケーションがチーム内に閉じてしまうと、社内であっても他のチームがどんなことをやっているかわからない
- 似たような調査や課題解決を、別のチームがそれぞれやってしまうことも
 - 同じ轍を踏む...

情報の偏りが様々な弊害を及ぼす

- 個人
 - 日々インプットする情報に偏りが生じてしまう
 - 社内の人間関係の経緯を把握するハードルが高い
- チーム
 - チームの仕事が属人化してしまう
- 組織全体
 - チームの動きが局所最適化されてしまう

情報の偏りの性質と原因

情報の偏り自体はリモートワークと関係なく生じてしまうもの

リモートワークだと顕著に出やすい印象

情報の偏りの原因はなんだろう...？

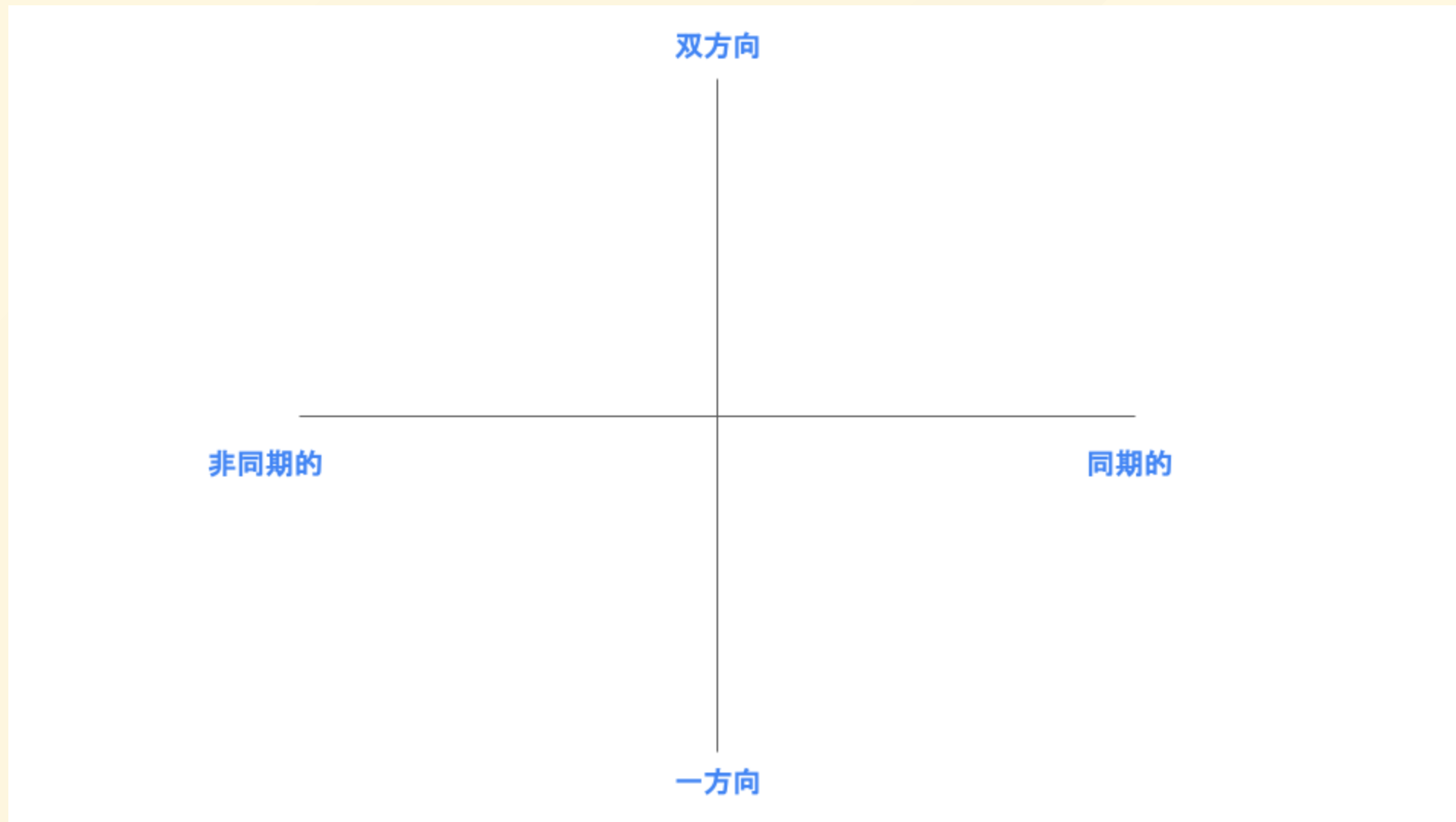
色々考えたり経験した結果...

結局は「雑談不足」が原因

もう少しロジカルに考えてみる

コミュニケーションを分類して考えてみる

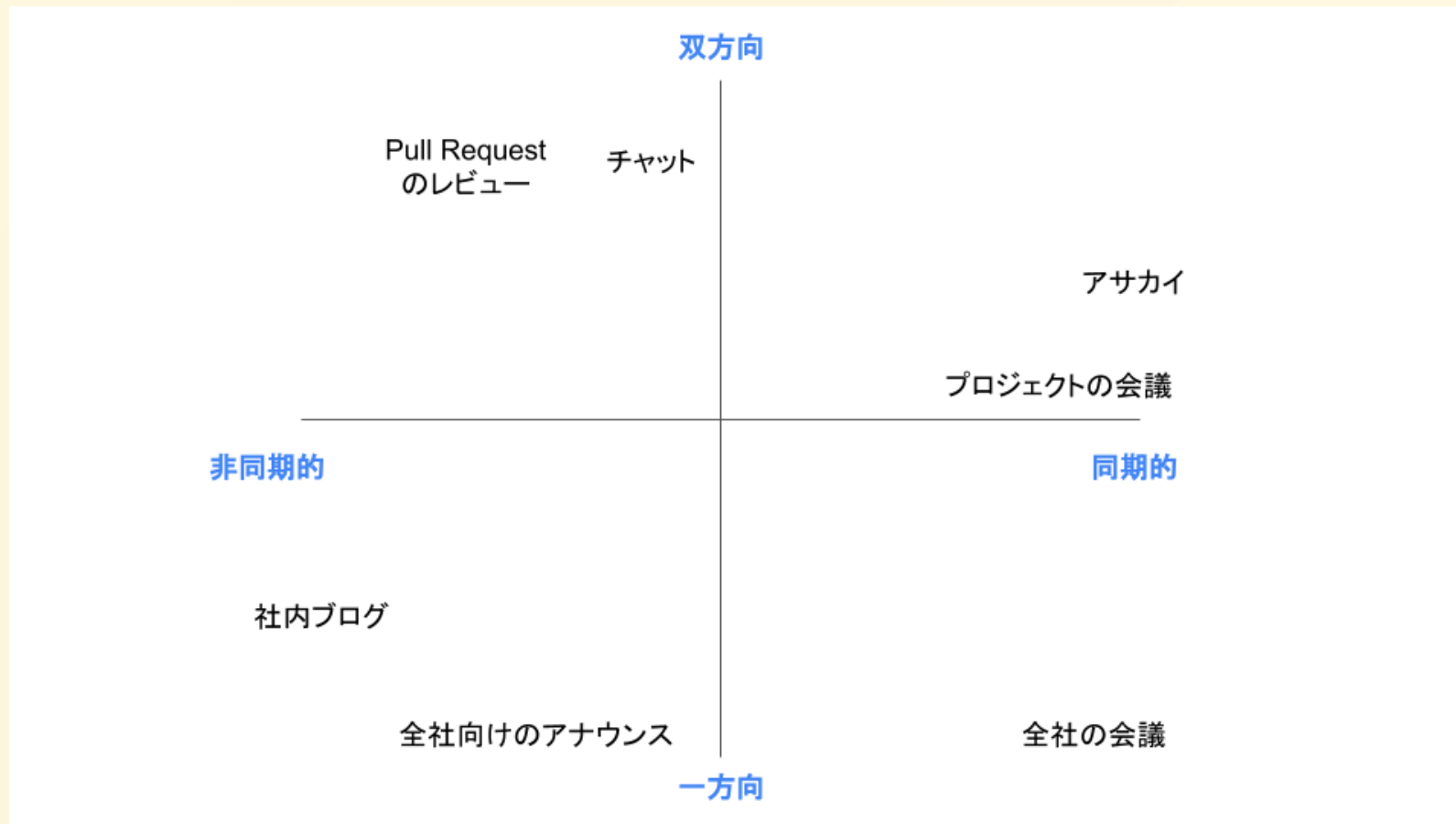
同期的かどうか、双方向か一方向かで分類できそう



オフラインでのコミュニケーションを考えてみる

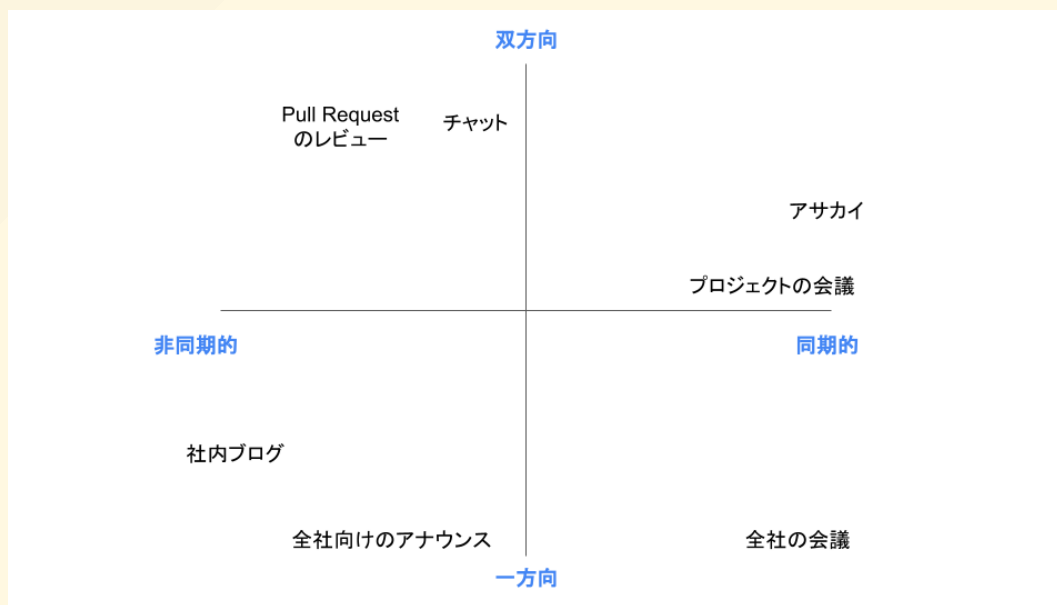


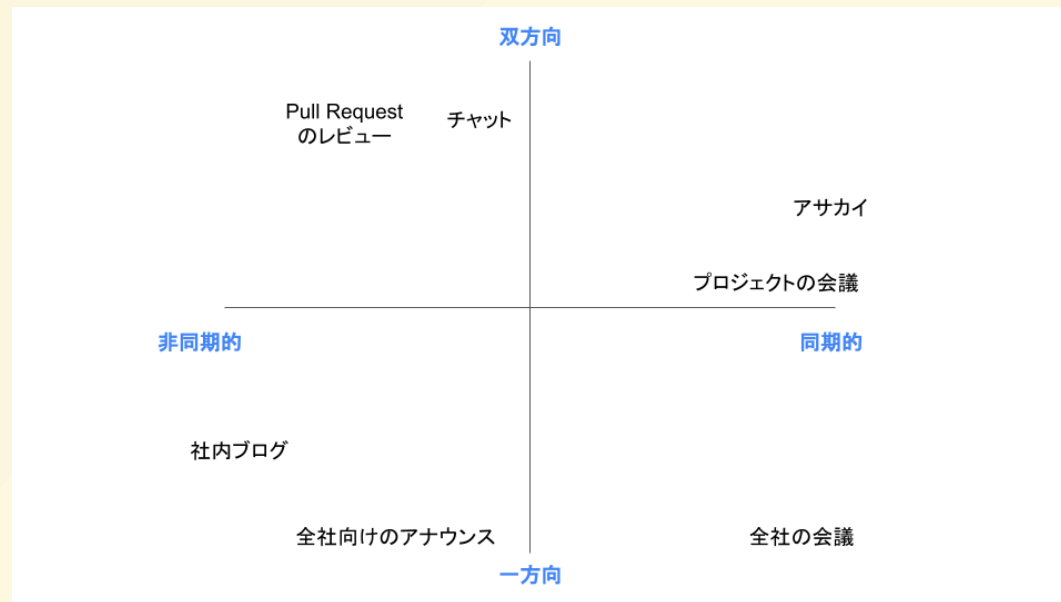
オンラインでのコミュニケーションを考えてみる



同期的で双方向のコミュニケーションが少ない...

オフライン / オンライン





同期的な双方向コミュニケーションが貴重...！

貴重な時間を雑談に使いにくい

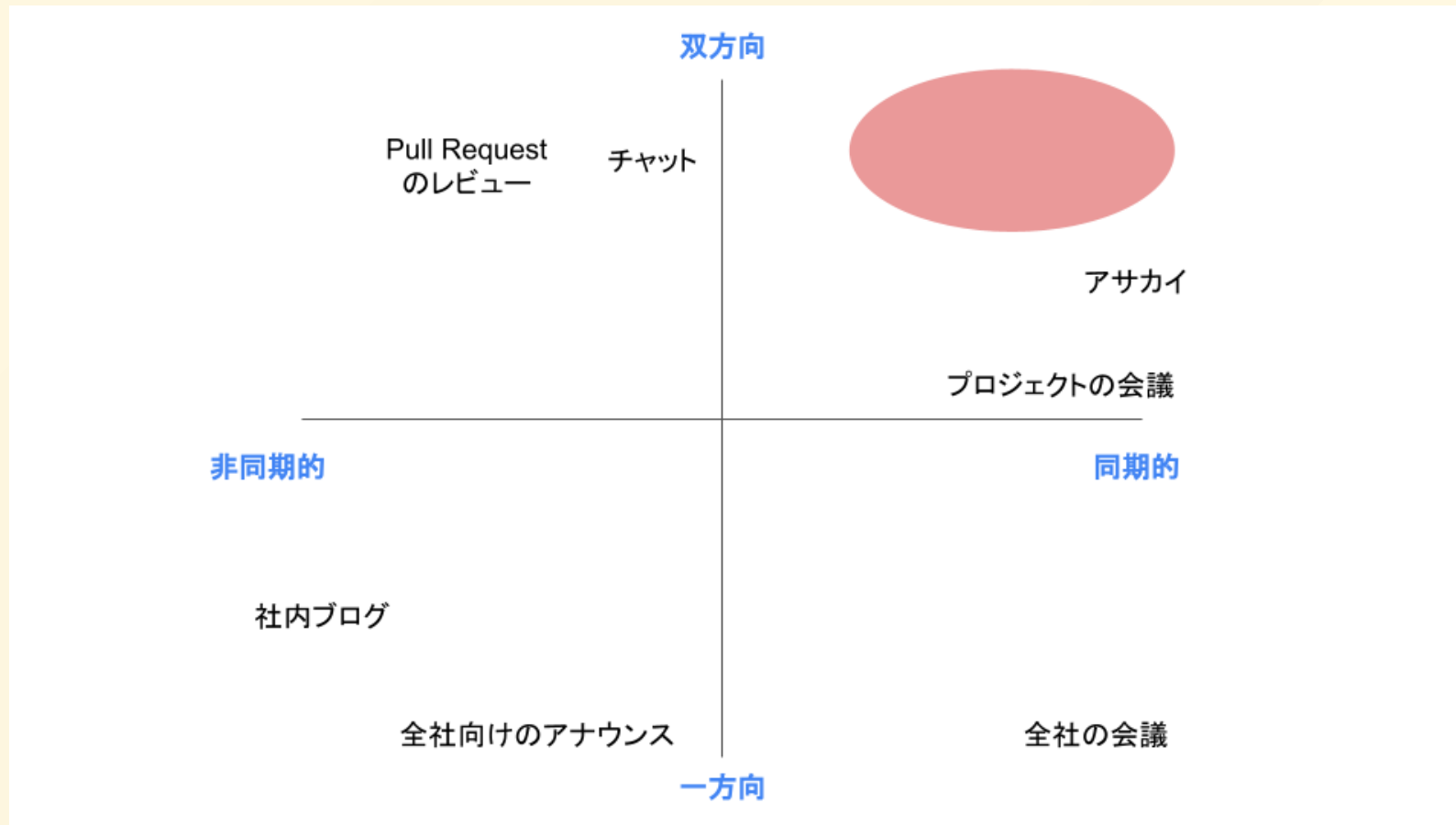
情報の偏りの原因

- 雑談不足が情報の偏りを大きくしてしまう
 - ふとした会話が知識の共有や組織改善のきっかけにつながる
- 雑談が不足するのは「同期的な双方向コミュニケーション」が貴重だから
 - 雑談は後回しにして、本題に入ってしまう

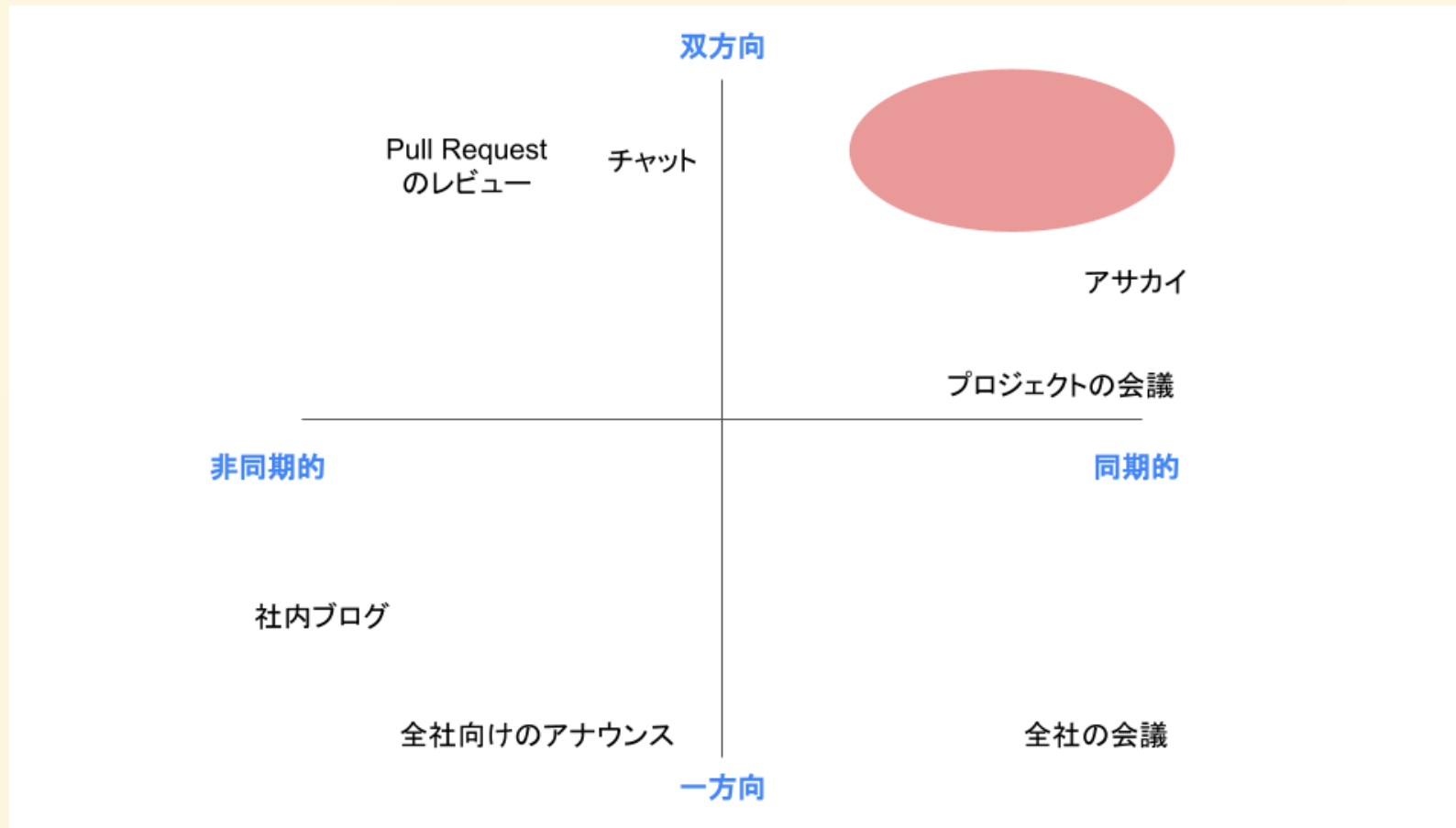
オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方

雑談増やせばいいんじゃない？

でも、いきなり雑談してくださいと言われても...



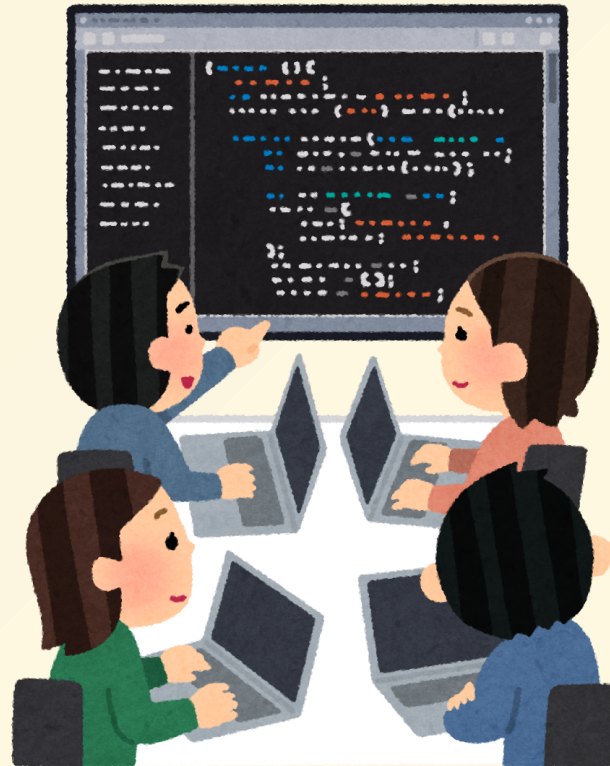
**原因を逆手に取ると、
同期的な双方向コミュニケーションが雑談を生みやすい**



**同期的な双方向コミュニケーションを
戦略的に増やしていこう**

やってよかった施策の紹介

モブプロ・ペアプロの実践



モブプロ・ペアプロの実践



モブプロ・ペアプロの実践

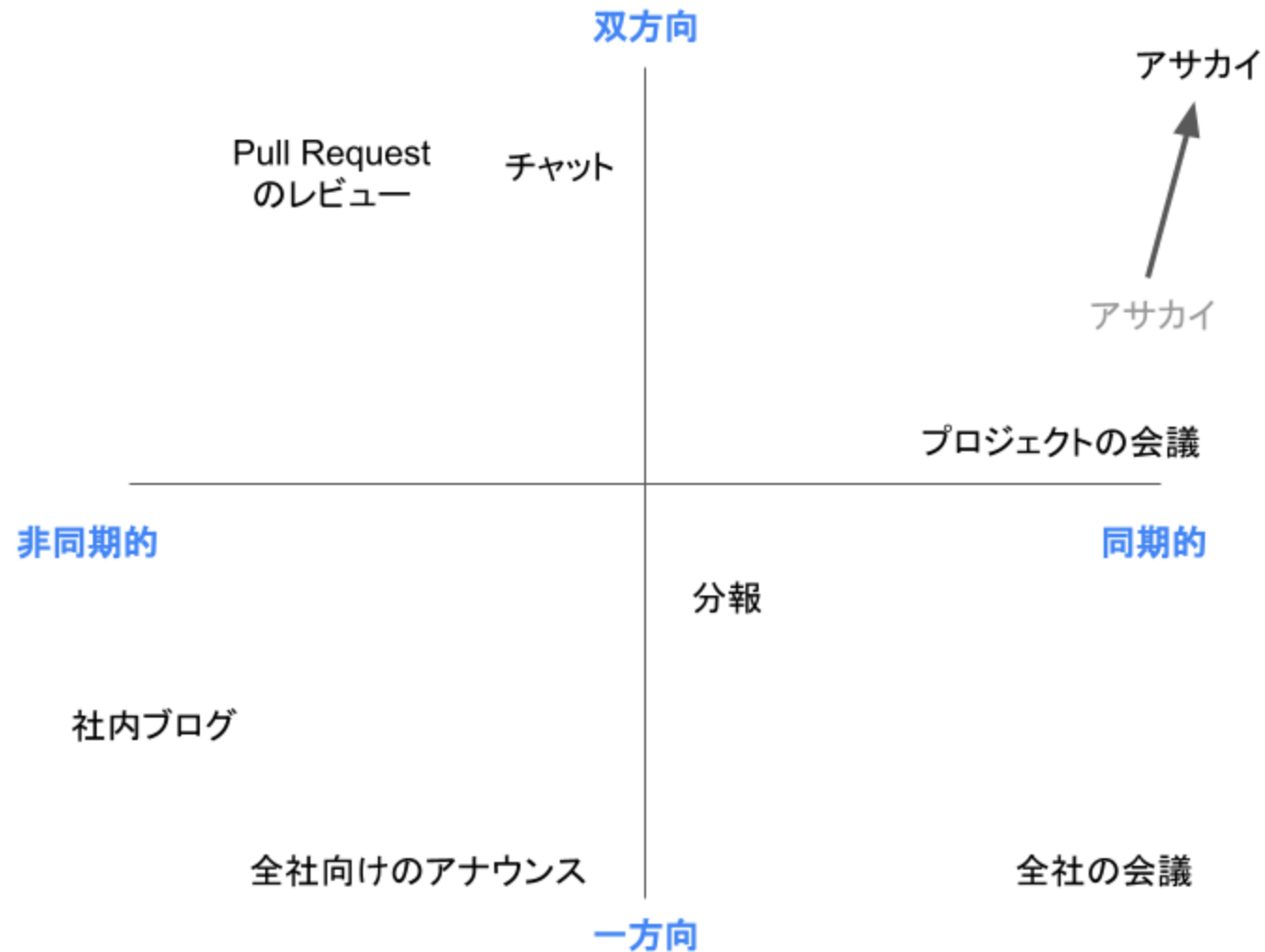
どういうときにモブプロ・ペアプロをやるのかチームで決めておくのがおすすめ

- 初回リリースまでは意思決定が多いのでモブプロで行う
- 30分やって原因がわからないバグがあれば、ペアプロを行う
- 常にモブプロを実践する

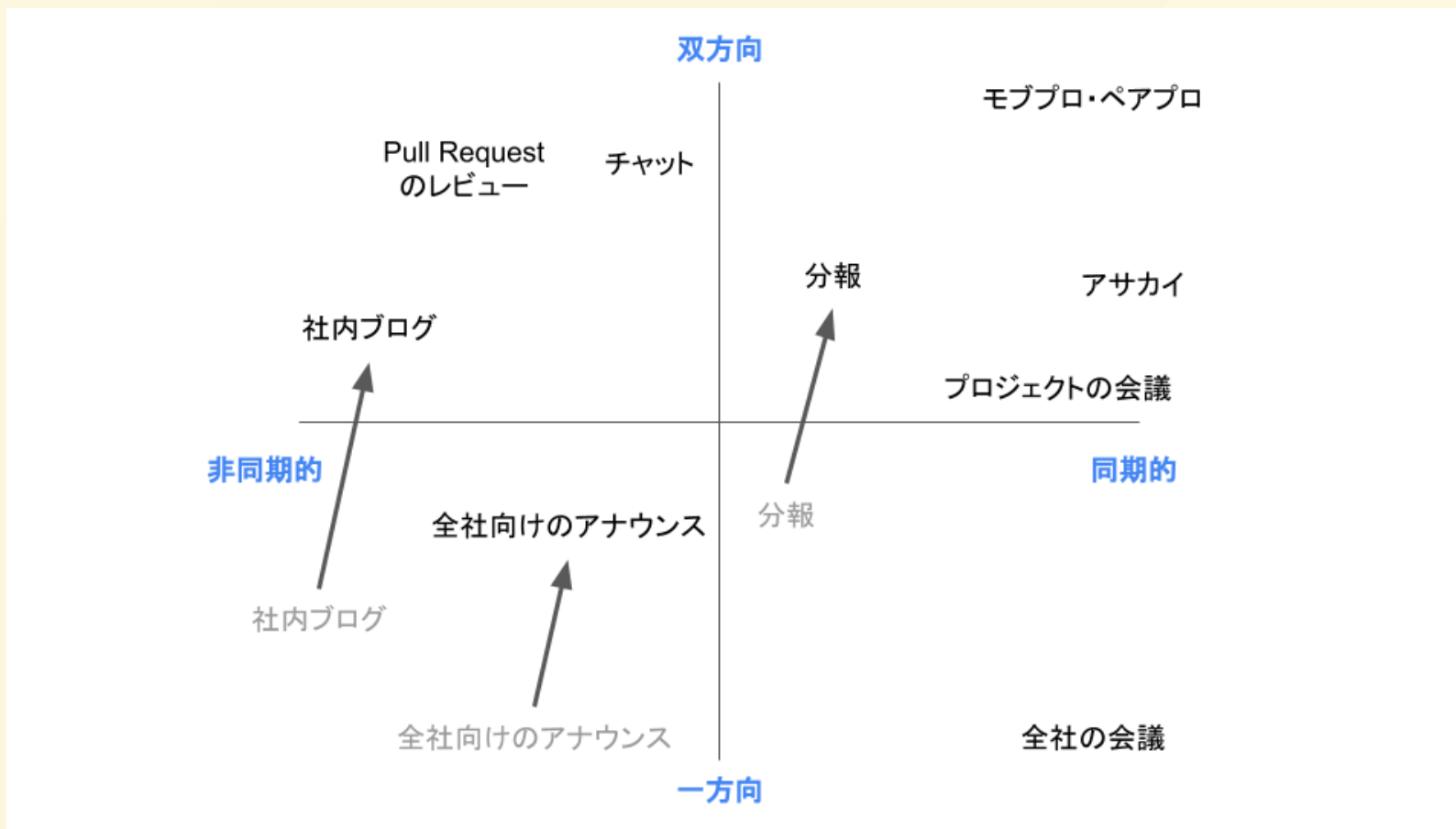
アサカイで1人1ネタ、 気になったニュースと見解を共有する



アサカイでニュース共有



双方向を意識したコミュニケーション

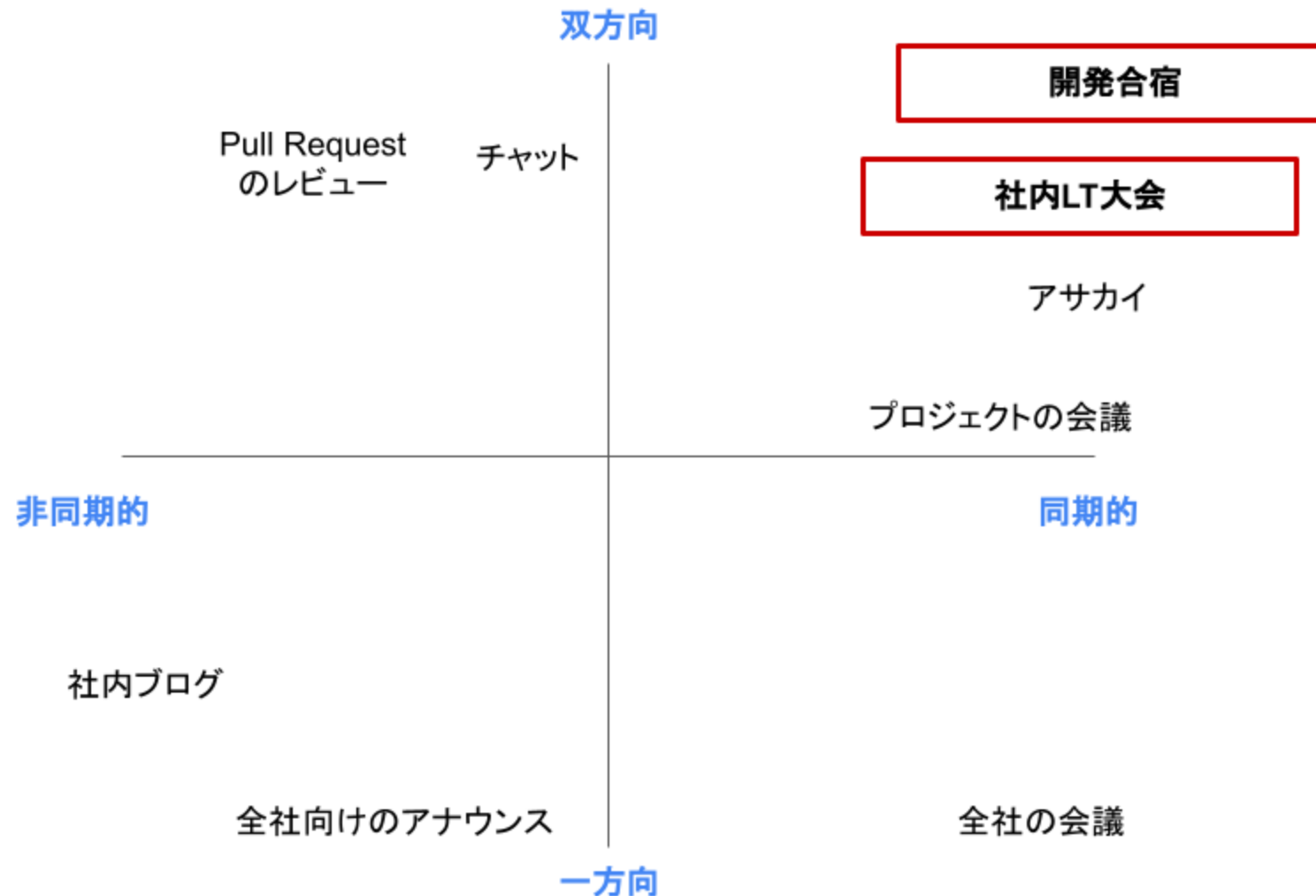


アサカイに限らず、ちょっとした工夫で双方向要素を加えられる

究極的にはオフラインで会う



究極的にはオフラインで会う



究極的にはオフラインで会う

会社の規模やオフィスと自宅の距離によりますが、以下のペースで会うことが多い

- チームメンバーとは1～2ヶ月に1回程度
- 部署単位だと四半期に1回程度
- 会社全体だと年に1回程度

オフラインで会って何をするか

特に以下のような場合に、積極的にオフラインで会うようにしている

- 中長期のロードマップを計画するとき
- チームや組織全体に影響する根深い問題に気づいたとき

通常業務をなるべく入れずに、今後の方針策定などにじっくり時間を
使うことが多い

やってよかった施策の紹介

- 同期的な双方向コミュニケーションの場を設ける
 - モブプロ・ペアプロ

やってよかった施策の紹介

- 同期的な双方向コミュニケーションの場を設ける
 - モブプロ・ペアプロ
- 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える
 - アサカイでニュース共有

やってよかった施策の紹介

- 同期的な双方向コミュニケーションの場を設ける
 - モブプロ・ペアプロ
- 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える
 - アサカイでニュース共有
- オフラインで顔を合わせる機会を設ける
 - ロードマップ策定、開発合宿、社内LT大会

まとめ

まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
 - 雑談不足が**情報の偏り**を生み、様々な弊害をもたらす

まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
 - 雑談不足が**情報の偏り**を生み、様々な弊害をもたらす
 - 雑談不足なのは同期的な双方向コミュニケーションが貴重だから

まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方
 - 雑談を増やす、同期的な双方向コミュニケーションを増やす

まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方
 - 雑談を増やす、同期的な双方向コミュニケーションを増やす
 - モブプロ・ペアプロ
 - アサカイでニュース共有
 - オフラインで会う

**日々のコミュニケーションを整理してみると、
不足しがちなコミュニケーションに気づけるかも？**

ぜひやってみてください！